

「子宮頸がん」を
もっと知っていただくために

20～30代の女性特有がんで
罹患率が第一位、近年急増しています



国立がん研究センターがん対策情報センター
「人口動態統計によるがん死亡データ
(1958～2012年)」より作成

子宮頸がんの症状

初期の場合	自覚症状がない まれに接触出血
進行した場合	接触出血・不正出血(生理日以外の出血) ・おりものの異常(茶褐色のおりもの・量が増える)・腰痛・下腹部痛・足のむくみ

初期の子宮頸がんでは、
自覚症状がほとんどありません。

Question & Answer

HPVセルフチェックの
疑問に答えます

Q 私も自分で採取できるのでしょうか？

A

イラスト付き説明書が付いていますので、
安心して採取できます。
採取スティックは誰でも確実にとれる設計になっています。

Q お医者さんが採取した場合と
結果は違うのでしょうか？

A

HPVセルフチェックとお医者さんがとる場合を比べたところ、
9割以上一致するという、良好な結果が得られています。

※第73回日本公衆衛生学会(2015年)

Q 結果はどう解釈すれば
良いのでしょうか？

A

陽性の場合：HPVの感染が認められました。

感染イコールがんではありませんが、
子宮頸がんを発症するリスクがあります。
医療機関で医師による子宮頸がん検診を受診してください。

陰性の場合：HPVは検出されませんでした。

子宮頸がんのリスクは低いと思われます。
ただし、この検査だけで子宮頸がんの前がん病変やがん
そのものの存在を完全に否定できるわけではありません。
これを機会に定期的な検診受診をお勧めします。

子宮頸がんのリスクを
「ご自身で」
チェックしませんか？

ヒトパピローマウイルス(HPV)の
感染を調べます

HPVセルフチェックは
こんな方におススメ

- 検診を受けるのが恥ずかしい方
- 検診の方法がわからず不安な方
- 検診のスケジュールに合わない方

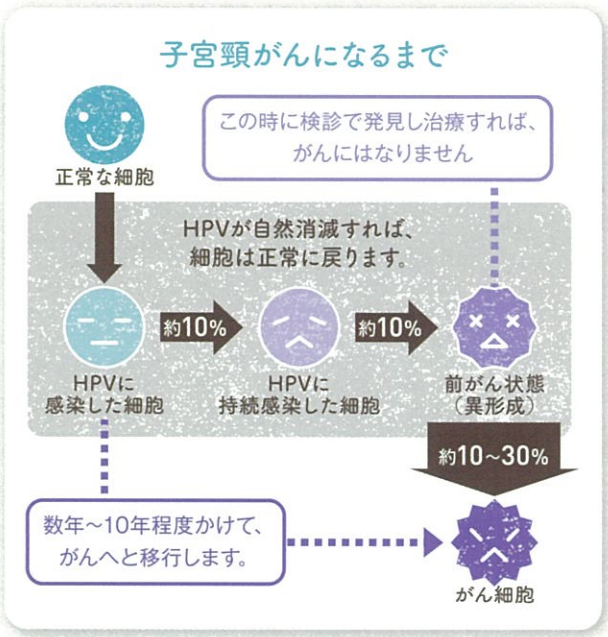
HPVセルフチェックのメリット

- ♥ 自分で採取するので、恥ずかしくありません
- ♥ 採取は3分で完了、手順もカンタン
- ♥ 場所や時間の制約を受けません
- ♥ プライバシーも守れます

Let's Check!

HPVと子宮頸がん

子宮頸がんは、予防のできる唯一のがんです
子宮頸がんの原因は、HPVの感染です



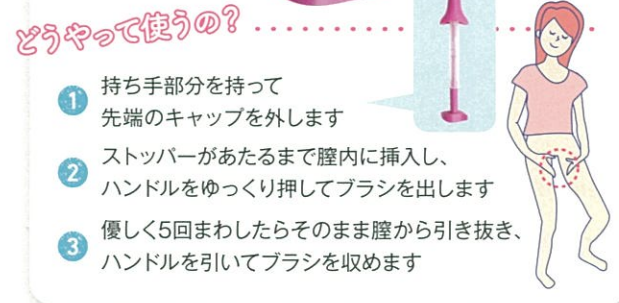
- HPVは、女性の80%が一生涯に一度は感染するありふれたウイルスです。
- HPVに感染してもほとんどは気づかぬうちに消えてしましますが、ごく一部の人は感染が続くことで子宮頸がんが引き起こされます。
- もしHPVに感染していた場合でも、経過観察して感染が続いていないかを確認し、子宮頸がんになる前に対処することができます。

HPV感染の有無で、将来子宮頸がんになるリスクが分かります

早期発見できれば子宮を残して完治し、妊娠出産も望めます

採取スティックは 使いやすい筆ペン型!

タンポンのように膣に入れて採取します



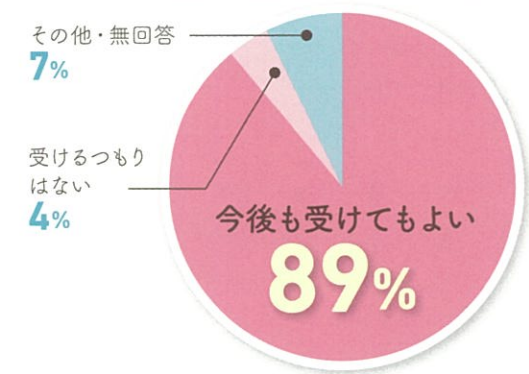
詳しい採取の説明書はこちらから

※同じ説明書が、採取スティックにも同封されています。

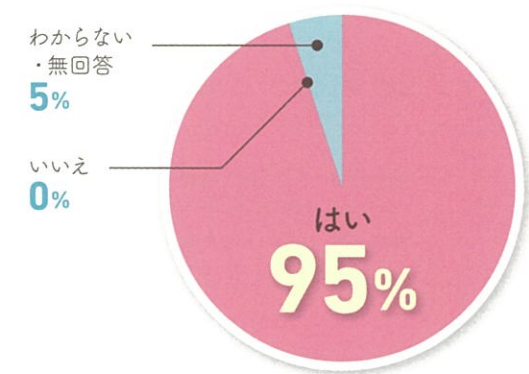
多くの女性が 「受けてよかった」と コメントしています

ある大手企業に勤める(20~50代:391人)の
使用後アンケート結果

Q1 HPVセルフチェックの検査について
どう思いますか?



Q2 HPVセルフチェックで陽性になった場合、
医療機関を受診する動機になりますか?



第73回日本公衆衛生学会(2014年)
伊藤真理(東京大学大学院医学系研究科疫学・予防保護分野)、
小西 宏(日本対がん協会)ら共同発表データより